2025 年度　誓いの言葉

本日は、私たち新入社員のために、このような盛大な入社式を開催していただき、また，高野社長からの温かい歓迎の言葉を賜りましたこと、新入社員一同を代表し、心より御礼申し上げます。

社会人として今一歩を踏みだしたことを改めて実感し、身が引き締まる思いです。いただいたお言葉を肝に銘じ、業務に励んで参りたいと決意を新たにしております。

昨年元日に発生した能登半島地震から 1 年が経過しました。当時私は新潟で大きな揺れに襲われ、東日本大震災の記憶とも重なり、非常に大きな不安と恐怖を感じていたことを思い出しました。そんな中、災害発生直後から、全国の各電力会社の皆様が一丸となって被災地の停電復旧に向け尽力されている姿を数々の報道で目にしました。その誇り高い姿から、私たちの生活に欠かせない電力を守る使命の責任の重さと重要性を改めて強く感じました。私はこの度，変電部門に配属となりました。電気をお客様へお届けするための調整役として、人々の生活の「当たり前」を最前線で支える仕事に従事できることを誇りに思うとともに、この重要な責務を全うすべく，1 日でも早く社会に貢献できるよう、責任感・使命感を持って精進してまいります。

現在、新型コロナウイルスによる行動制限から日常生活が戻りつつある一方で、日本経済や世界情勢は，激しい環境変化により先行きの不透明感が高まっております。電力業界においても、競争の激化に加え、デジタル化の進展やカーボンニュートラルの潮流加速など、取り組むべき課題も多く，転換期を迎えていると言われています。このような大きな転換期を成長の機会と捉え、東北電力ネットワークにおいても，一歩先を見据えて挑戦するとともに、「東北電力だからこそ成し得ること」を考え、お客様や地域に寄り添っていくことが強く求められていると考えています。私たち新入社員はまだ右も左もわからない未熟者ではありますが、東北・新潟地域を電力の安定供給をとおして支えていきたいという熱意を持ち、新たな成長に向けて積極的に挑戦していく覚悟で、今日この場に臨んでいます。1 日も早く、電力の安定供給を支えるプロフェッショナルとして、会社に貢献できる人材となれるよう精一杯努力いたしますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本日いただいた言葉を胸に刻み、決して忘れることなく、東北電力ネットワークの社員であることを誇りとし、高野社長をはじめ先輩方が築いて来られた会社の伝統を受け継ぎ、さらに未来へ発展させていけるよう日々励んでまいることをここにお誓いし、新入社員代表の言葉とさせていただきます。